

まほうの子育て

誰でも使える7つの工夫

vol.1

言われるイメージしちゃう!の巻



バナナを
思い浮かべないで
ください!



という様に
人は言われた言葉を
自然とイメージして
しまいます。

イメージが
アイスじゃない
わよ?



え!!
たたくては...!

例えば...

ごぼさない
ようにね!



こぼらん!!

と、声を掛けると...



ある意味
イメージ通りで
大成功(笑)

思い浮かべて
ごぼしてしまったり

なごう...

忍者の様に
慎重にね!

走るな!



走らん!

歩こう



声の
ボリューム
2にして



うるさい!



など、試しに違う
伝え方をしてみ
てくださいね!

焦らず気長に
試してみてください



まほうポイント

「してほしいこと」を「具体的に」伝える

みなさん、「バナナを想像しないでください。」と言われたら、頭の中に何が思い浮かびますか？ 多くの方は、頭の中に黄色い美味しいバナナが思い浮かぶのではないのでしょうか？ 人間は、言われたことを頭の中でまず映像に置き換える能力があります。そのため、禁止されることも一度、自分の過去の経験で得た映像などに置き換えるため子どもに「**やってほしくない行動**」を連想させてしまいます。

例えば「廊下は走らない」ではなく「廊下は歩きましょう」、「いつまでも寝てないで、起きなさい」ではなく「朝だから起きて、ラジオ体操しよう」とか。

イメージしやすい行動を、言葉で丁寧に伝えるようにすることで自然とイライラすることが減ってくるはずですよ。

楽しみながら
言葉を選んでみて
くださいね!

言いかえ前	言いかえ後
ちょっと待って!	あと30秒待って
いつになったらやるの!	何時からやる予定?
早く! 待ってるのに!	何個数えたら終われそう?
うるさい!!	声のボリューム2にしよう!
走らないで! あぶない!	止まって!
だから言ったのに!	どうしたらよかったんだっけ?
走るな!	歩こう!
なんでこんなに汚いの!	よし綺麗にしよう!
あーもうほら失敗した!	(対処方法) すればOKだよ!
さっさと用意して!	あと5分で出かける時間になりまーす!(予告)



イメージ